

BAILLA

毎月12日はバイラの日

バイラ

<http://baila.shueisha.co.jp>

2 ²⁰¹⁰ February
特別定価 670yen

大好評企画第

転ばぬ
30歳美

アラウンド30歳こそ「攻め」
肌が「あぶら」な
オイル美容 vs. クリー
アラサーによるアラサー
新色コスメお話

通勤服をあきら

バイラ世代に今必要
3つの通勤新法

ブレ
「美脚確実」

長谷
「持つと上がる」春映え

世界中から
いただきます!

おしゃれ名人140人の
着こなしアイデア
をキャッチ!

別冊付録/湯
開運! 温泉

女の人生

出会ったら即妊娠したい
結婚しなかったらどう
最前線で働く女

BOOK in

「夜8時から」
簡単・野菜たっぷりご

竹内結子さんの私的コーディネート / ブレンダのアイデア拝見 /
パリコレ会場でおしゃれハンティング / セレブの休日スタイル・パパラッチ /
辻直子さんはじめ4人の月金リアルスタイル /
同じ服で東西ショップスタッフがコーディネート対決

あるのは使命感!

社会をよくするために、

「自分の生活を犠牲にしても」「人を助けたい」。そんな使命感に燃える女性をルポ。仕事はハードなはずなのに口をそろえて言うのが「30代の今、最高に充

恋人をつくるのも忘れて 走り続けてきたこの10年 たぶん、一生続けていくと思う

EAP総研 代表取締役
川西由美子さん(35歳)



心の病を持った人には
サポートが必要。
だからこの道を選びました

東京駅を見下ろすビルの19階。そこに現れた川西さんは、どう見ても大勢の部下を従え大きな資金を動かす社長さんには見えない、可憐な女性だった。「今日のために写真を整理してみたの。こうやって過去を振り返ったのは久しぶり。この10年、前だけ見てきたから」メンタルヘルスという言葉さえなかった90年代。当時のカウンセラーは、占い師としか思われていない節もあった。そのくらい日本ではカウンセラーの質が安定していませんでした。質を上げるにはカウンセラーがカウンセリングに専念できる環境を用意し、営業や数字管理など気にしないことが大切。結局それにはカウンセラーが所属できる場、つまり人材派遣

会社があればいいんだ、と。当時日本にはそんな会社になかったの自分でつくっちゃったというワケなんです(笑)。いやいや笑いごとではなく、ないから会社をつくるなんて発想、26歳の女性に本当にできるのだろうか? 「私のモットーはKKD。謙虚、勘、度胸のこと(笑)。それだけが頼りでした」きっかけは高校時代に米国で出会ったキャンプカウンセラー。親元を離れ生活する子どもたちを心身ともにケアするのが仕事のそのキャンプカウンセラーに、日本に帰りたくて太泣きしていた彼女はとも励まされたという。そして同時期、事業経営者だった祖父と人間関係の確執で心を病んでしまった父の姿を目の当たりにし、自分の道は決まった。将来日本において心の病を抱えた人は増えるはず。その人たちの社会復帰のサポートをしたい、と。

風邪をひいたら薬がある。
心の風邪には、私たちが
カウンセラーがいる

米国で心理学を学びカウンセラーの資格を得た彼女は26歳で帰国。早速カウンセラー派遣会社を設立。とはいえ起業当時は苦労の連続だった。派遣会社とはいえ、所属カウンセラーは私一人(笑)。だから当時の私に必要なのは、まず信用してもらおうこと。オートクチュールブランドで身を固め、オフィスも、信用第一と東京青山に借り無理をしながら賃料60万円を払って……。でも実際は家具を買いお金もなく部屋には応接セットが一つだけ(笑)できる仕事は片っ端から引き受けた、という川西さん。一般的なカウンセリング以外にも、スポーツ選手のモチベーション管理から支店長クラスへの売り上げアップセミナー、営業マンにはストレス対処法セミナー、果ては米国の心理学会での発表から本の執筆に至るま

で。がむしゃらに働いて2、3年、徐々に所属カウンセラーも増えてきた。「お客さんの心を助けたい。頭にあつたのはただそれだけですよ」起業から10年たった今、登録カウンセラーは50人を超えるまでに。プライベートに話題が及ぶと、川西さんはちょっと恥ずかしそうに「10年間は恋愛禁止でやってきましたけど、つい先日解禁したの(笑)。いい出会いがあるといいな」人がいる限り自分の仕事はなくなりたくない、とまたまた貪欲な様子。「やっとなんかヘルスの認知度も高まり基盤が整ってきたところ。私が目指しているのはその先。元気になった個々がどれだけ集団としての最大能力を発揮できるようになるか、そのためのチームワーク育成です。先日もこの分野の先進国でもあるフィンランドでコンサルタントの資格を取ってきたの」過去10年を振り返ったのもつかの間、彼女の目はすでに未来へと向いているようだ。

History ビジネスヒストリー

- 20歳** 心理学の勉強のため渡米。病院などでのインターンシップを経験
- 26歳** 帰国後、カウンセラーの派遣会社(株)マックスインターナショナル設立。同年、ゴルフ場の一室を借り、ゴルフファーマのためのカウンセリングをスタート
- 27歳** 宇都宮セントラルクリニックでストレスドック開始
- 28歳** ロサンゼルスに本社を持つ、カウンセラーの派遣会社と提携し、米国企業の日本支社へのカウンセリングを始める
- 30歳** メールでカウンセリングをするウェブカウンセリングシステムをビッグロープ健康サイト上で展開
- 32歳** 社名をEAP総研に。EAP総研代表取締役となる(派遣会社大手・フジスタッフの傘下に入る)



起業直後、ブランドのスーツに身を包み仕事を開拓していた



ゴルフコンペのパーティ会場でセミナーを開催(起業直後)



業績アップセミナーではその仕事を体験するのがモットー